

たんぽぽの会 ～防大裁判の原告を支える市民の会～

防衛大学校人権侵害裁判は、防衛省の施設機関である"防衛大学校"の実態を問う全国初の裁判です

連絡先： TEL 070-5272-9059

MAIL hoshitotanpopo88@gmail.com

2019年 4月1日 12号

《原告本人尋問》第19回裁判は3月13日(水)13時30分より101法廷にて、96席ほぼ満席で行われました。原告母親の人証調べが裁判所より認められなかったことにより、最後の貴重な原告の証言となりました。原告は「防衛大の腐敗した日常」やそれを教官が認識していたことを裏付ける「教官の言動」を1つ1つ丁寧に証言していました。

国からは歯切れの悪い、加害学生に対して行なった同様の通り一遍の尋問が続いただけでした。教官の「おさなりの注意」で、私をはじめどれだけ多くの学生達が酷い仕打ちを受けたか。もっと真剣に防大改革に取り組むべきです。 —原告—

(自習時間に火をつけられた時)

- ・半裸の原告を見てもGT教官は少しも慌てず、靴にビニールカバーを付けてから原告の元に。「あまり騒ぐなよ」と。GT教官は「ファイヤーは宴会芸ではある」ことを以前証言済み。
- ・教官は怪我の確認や原告に声掛けもなかった。聞き取り調査で同様被害学生は144名にのぼる。

(反省文の強要時)

- ・「自習時間の携帯使用」の件で原告だけに反省文強要。「上級生から勉強はするな、と教科書を取り上げられ漫画を渡された」「自習時間には粗相ポイント消化の罰をさせられていた」
- ・「勉強が出来る状況でないと教官に相談したが“うまくやってくれ”とだけ」教官記入の当時の学生指導記録には原告の相談事項の記載あり。
- ・原告家族からは「名札の剥ぎ取り行為や電動ガンの被害(いづれも懲戒処分対象)や他学生の被害状況も報告(電話反訳書提出済み)しているが、「安易に反省文強要を止めさせただけで、暴力調査や電動ガンの没収などせず。」防大当局は告訴後、関わった教官を懲戒処分している。
- ・聞き取り調査で電動ガンの被害学生は68人に。被害状況を理解してもらう為、今回「たちかぜ裁判」の証拠、実験DVDを裁判所に提出。

(殴打、掃除機の虐待)

- ・「UC学生とは同部屋、同ボクシング部であるから本人には聞かないで欲しい」と教官に懇願するのに安易な注意をして指導を終わらせた為、当学生から掃除機虐待を2か月に渡り受け続ける

- ・「せめて・・・違う部屋に移動させて欲しかった。教官に相談してもおさなりな注意で終わり、追い詰められて、状況は更に悪くなるだけ」「教官もただの防大上級生だと」

(2年時に引き継がれた状況)

- ・教官が学生を評定する時の資料の一つとして、上級生が評定をする「学生間評定」の存在が明らかとなる。原告の適性評定をした3年から、指令に背き続けているお前が悪いと言われ「悪く思うなよ」と。
- ・評定は2年時に移動した被告中隊学生長の手元に渡り、「標的に(ロックオン)。」
- ・防大では「ミサイル発射になぞらえロックオンされ、標的になると辞めるまで、死ぬまで逃げられない」と周知されていた。

(学生相談室)

- ・学生必携に「解決まで寄り添う」とあり、カウンセラーに相談したが何も動いてはくれず「どこへ行っても駄目だと絶望した」
- (希死念慮と診断後の防大の対応)
- ・「母が(夜)防大に来る前なら、帰れると教官に言われ、早朝一人で防大を出た。」

次回裁判

被告：(対国) 最終口頭弁論

2019年6月13日(木)

13:30～ 101号法廷(96名)

(福岡地裁) 福岡市中央区六本松4-2-4

NNNドキュメント '19 放送決定！！

—防衛大学校の闇(仮)—

制作：日本テレビ系列(福岡ではFBSにて放送)

4月21日(日) 深夜24:55～ (55分の拡大版)

(別表記：4月22日AM 0:55)

*再放送 4月28日(日) 昼11:00～ BS日テレ
// 早朝5:00～ CS日テレNEWS24
// 深夜24:00～ //

カンパの振込先

郵便総合口座 たんぽぽの会
(防大裁判の原告を支える市民の会)
店番 748 普通預金 8941260

*郵便口座をお持ちの方はATMから手数料無料
*赤の振込用紙も手数料無料

機会ある度に振込用紙を配布しておりますが、可能な時があればご使用されて下さい。
またパンフの購入時にも活用されてください。

たんぽぽ便り入手方法

振込用紙にメールアドレス明記、または下記
のアドレスに空メール送信、たんぽぽの会より
メールにて「たんぽぽ便り」送信致します。
(メールアドレス)

tanpoponokai55@gmail.com

「防衛大人権侵害裁判のページ」とネット検索
こちらは支援の方のご厚意で「たんぽぽ便り」
「支援ニュース」「裁判日程」が掲示されております。
ご活用して下さると郵送代の節約となりますので
ご協力よろしくお願い致します

*上記いずれも困難な方は郵送致します。

《署名のお礼とTV放送の告知》

開廷前に原告と支援者代表で **28,246** 筆の署名を
裁判所に提出しました。裁判終了後の報告会では、
原告から提出総数が **44,064** 筆もなり、沢山の方々の
応援のお陰で無事尋問を終えることができたこと感謝
の言葉を伝えました。

今回の尋問で改めて、この事件が各々の学生の犯
行ではなく、**巧妙な防大の学生間指導**のやり方であ
ったと証拠を示しながら立証できました。

また、この事件を当初より取材し続けて下さった
「NNNドキュメント」の放映が決定し、更に理解
を深めて頂ける機会を得ることができました。この
チャンスを最大限に活用し、「防大の実態」を周知し
てもらおうことが若者達を守ることに繋がります。

沢山の方に放送のお声掛けお願いします！！



皆様、驚くほどの沢山のご署名
本当にありがとうございます。
原告

(放送内容)

幹部自衛官を養成する防衛大学校で「殴る」「蹴る」「下半身に火を付ける」などの暴力が起きていた。被害者の元学生(24歳)が起こした裁判で、加害者は「指導だった」と主張し、元教官は「予測不可能だった」と証言。取材を進める中で我々は、防衛大OB等の貴重な証言と重要な内部資料を得た。

見えてきたのは蔓延する暴力の実態。そこには“学生間指導”という独自の教育システムが介在していた・・・

(防大裁判)・・・2013年原告が入校した防大は野蛮で執拗な暴力、陰湿な虐待を「指導」と称した治外法権の空間だった。元防大生の教官達に助けを求めても適切な対応はしてもらえず、カウンセラーや防大内に駐在している警務隊も同様だった。ついに刑事告訴(2015年略式命令)→2016年、民事訴訟に踏み切る。国と学生に分離された裁判は、2019年2月元学生7名(8名中)に支払い命令が下り、法廷では大勢の学生が犠牲となっている「悪しき伝統」を明らかにすることが出来た。現在、対国との法廷闘争中。2019年6月13日13:30~福岡地裁で最終口頭弁論が行われる。

公務と認定された「学生間指導」の実態、防衛省の腐敗は既に防大教育から始まっていること、国の防衛に就く自衛隊の幹部達はどのように教育されてきたのか？

世間に周知させ、若者達の犠牲を食い止める為に是非防大の実態を知って下さい！！